



2023年11月14日

各位

会社名 ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 兼グループ CEO 小野 有理  
(コード番号 6699 東証プライム市場)  
問合せ先 専務執行役員 CFO 徳原 英真  
(TEL 06-6302-8211)

## 営業外収益、特別損失の計上、2024年3月期累計期間の業績予想と実績値との差異、通期業績予想の修正、剰余金の配当・期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績値との差異、2024年3月期の通期連結業績予想の修正、及び特別損失の計上、並びに2023年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当無配）・期末配当予想の修正（未定）について決議いたしました。

また、2024年3月期第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）において、営業外収益（為替差益）を計上いたしましたので、併せて下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外収益（為替差益）の計上について

2024年3月期第1四半期連結累計期間に為替差益792百万円を計上しておりましたが、為替相場の変動により、当第2四半期連結会計期間に為替差益277百万円を追加計上いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間に為替差益1,069百万円を営業外収益に計上いたしました。

#### 2. 特別損失の計上について

当第2四半期連結会計期間において、自動車機器事業のお客様と市場回収措置(リコール)に関する求償割合で合意できたことにより、当社が一部費用を立替負担している金額を控除した上で特別損失(製品補償引当金繰入額)188百万円を計上いたしました。

なお、当該措置に関する当社が一部費用を立替負担している金額については、現在お客様と交渉中となっております。

#### 3. 業績予想値と実績値との差異について

##### (1) 第2四半期累計期間連結累計予想値と実績値との差異（2023年4月1日～2023年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	47,900	100	▲120	▲220	▲28.55
実績値 (B)	44,978	▲362	494	▲188	▲22.52
増減額 (B - A)	▲2,921	▲462	614	31	—
増減率 (%)	▲6.1%	—	—	—	—

(2) 第2四半期累計期間連結累計予想値と実績値との差異に関する理由

売上高については、電子機器事業でお客様の在庫消化による影響を受け、販売が大幅に減少したことにより業績予想値を大きく下回りました。

営業利益については、自動車機器の一部お客様需要減、エネルギーソリューションのお客様信頼回復に向け足場を固めつつあるも販売計画の未達、電子機器の販売が予想を下回ったこと及び材料費率悪化の影響等を受け、業績予想値を下回りました。

経常利益については、為替相場変動による為替差益1,069百円の営業外収益を計上したことにより業績予想値を大きく上回りました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、特別損失の計上があったものの、業績予想値を31百万円上回りました。

4. 連結業績予想の修正について

(1) 2024年3月期通期連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	98,000	850	450	210	27.25
今回発表予想 (B)	93,000	0	600	▲160	▲19.11
増減額 (B - A)	▲5,000	▲850	150	▲370	—
増減率 (%)	▲5.1	▲100.0	33.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	91,106	▲1,187	▲817	▲1,075	▲139.52

(2) 修正の理由

2024年3月期通期連結業績予想につきましては、売上高は、電子機器事業でお客様の在庫消化による販売減少の影響を受け、前回発表予想から減収の見込みです。

また、営業利益については、自動車機器事業における単価向上と同時に取り組んできた原価低減活動により収益改善が進んでおり、エネルギーソリューション事業においても生産回復とともに往時の販売を取り戻し一定の回復をみせておりますが、電子機器事業における販売減少の影響を大きく被り前回発表予想を下回る見込みです。

なお、経常利益については、為替相場変動による為替差益の影響により想定を上回る見込みですが、親会社株主に帰属する当期純利益については特別損失の影響により前回発表予想を下回る見込みです。

これらの影響により、通期連結業績予想を修正いたします。

5. 剰余金の配当・期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当（中間配当無配）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年5月12日公表)	前期実績 (2022年9月期)
基準日	2023年9月30日	同左	2022年9月30日
1株当たり配当金	0円00銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	—	—	101百万円
効力発生日	—	—	2022年12月5日
配当原資	—	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正（未定）

1株当たり配当金			
基準日	第2四半期末	期末	合計
前回予想	12円50銭	12円50銭	25円00銭
今回修正予想	—	未定	未定
当期実績	0円00銭		
前期実績（2023年3月期）	12円50銭	12円50銭	25円00銭

(3) 理由

当社は、配当については、長期的視点に立って企業体質の一層の強化及び将来の成長分野への投資のために必要な内部留保を確保しながら、安定配当の維持と向上を図るため、連結当期純利益に対する2025年における配当性向25%以上を目標とし、利益還元を実施したいと考えております。

しかしながら、当期の中間配当につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績、及び前期中間配当における会社法第465条第1項（本文）の抵触経緯（2023年8月28日付「（開示事項の経過）外部調査委員会による調査報告書の受領と当社見解の件」で開示）を踏まえて、「無配」とさせていただくことを決議いたしました。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、2024年3月期の期末配当につきましては現時点で「未定」に変更させていただきます。ただし、下期の業績回復に向け、引き続き挙社一致で取り組み、その上で動向を見極めつつ慎重に検討し、配当予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上